# KEIGLAD NEWS Vol.3

# ラオスエクスターンシップの思い出

### 增田 晋 (慶應義塾大学大学院法務研究科教授)

本学の松尾弘先生と深沢瞳研究員と共に、エクスターンシップ (海外) に参加し、2019 年 2 月にラオスのヴィエンチャンを訪 問しました。エクスターンシップは12日間のプログラムですが、 私は最後の3日間のみ同行し、引率した学生5名(法科大学院生 3名とLL.M.生2名)と共に大変貴重な機会を持てたので、ここ に報告します。

私にとっての初日 2 月 25 日は、独立行政法人 国際協力機構 (JICA) のヴィエンチャン・オフィス訪問から始まり、JICA の 法務職員よりラオス民法典成立の苦労話を伺うことができまし た。JICA はラオスの民法典の起草を約20年にわたり支援してき ましたが、2018年末に630条の条文からなら民法典として成立 しました。同法典は日本の民法典の考え方も取り入れており、こ れからはラオス国民や社会を私法的に支える基本ルールとなるこ とが期待されています。日本がなしうる法整備支援の実例として 大変参考になり、JICA の皆様には深く敬意を表します。また、 その晩は、ラオスの裁判官主催の晩餐会に招待され、ラオスの司 法制度や文化の話と美味しいラオス料理を堪能したことも忘れら れない思い出でした。



翌日は、ラオス国立大学に おいて、ラオス人学生とエク スターンシップ生とが、お互 いの国の法制度を学び、また、 互いに関心のあるトピックに ついて話し合い、相互理解を 深めました。私も国際商事仲 裁について講義する機会を得 たのは幸いでした。

# ラオス国立大学でのエクスターンシップ (2019年2月)

特に、学生達が力を入れていたのは、共通の家族問題について、 ラオス人学生が新しい民法に基づき、慶應の学生は日本法に基 づき、お互いロールプレイで演出し解決する授業で、私達の記 憶に深くとどまるものと思います。

エクスターンシップ(海外)の授業は、学生達の単なる国際 交流を超え、法律をベースにお互いの理解を深め、Rule of Law の目標に近づく一助となることを確信した次第です。

#### 参加学生からのメッセージ

#### 浅岡真直 (JDコース3年生、エクスターンシップハノイ、ラオスに参加)

私は昨年ベトナムとラオスでの海外エクスターンに参加しました。 法律や法整備支援について知識を得たことは勿論ですが、私にとって は、現地の人達と交流する機会を得られたこともとても良い経験にな りました。現地で仲良くなった友達とは帰国後も頻繁に連絡を取り合 っており、ベトナムで仲良くなった学生と連絡を取ってラオスで再会 したり、ラオスの実務家の方とお土産の送り合いをしたりしていま す。このように、普段の生活では知り合うことのなかった人を友人と 呼べるようになったことは、私のロースクール生活の大きな財産とな りました。秋にはカンボジア人の友人が日本に留学で来るので、久し ぶりに会えるのを楽しみにしています。

# Memory of Keio Externship Program in Laos

# ${\color{red} Susumu\ Masuda}\ ({\rm Keio\ University\ Law\ School}, {\color{blue} Professor})$

I participated in the Externship Program (International) led by Professor Hiroshi Matsuo and Researcher Hitomi Fukasawa and visited Vientiane, the capital of Laos, in February 2019. Although the program lasted 12 days, I could only participate in for 3 days but had a very fruitful experience there with 5 Keio students (3 J.D students and 2 LL.M. students).

On February 25th, we visited the Vientiane office of Japan International Cooperation Agency ("JICA") and heard various painful but wonderful stories concerning the establishment of first ever Civil Code of Laos. JICA had helped Laos to draft its own Civil Code about 20 years before it was enacted as the successful Code having 630 articles in the end of 2018. It adopted some important concepts and structures of the Japanese Civil Code and is expected to be the fundamental rule to legally support people and societies in Laos. It is one of the representative legal-support projects to developing countries Japan has been able to provide with, and we have to respect JICA's people involved in this support. In that evening, we were invited to a dinner organized by Lao judges and very much enjoyed talks of Lao judicial system and culture over beautiful and tasty Lao foods. It was our wonderful memory!

On the next day, we visited the faculty of Law and Political Science of National University of Laos, and Keio and Lao students mutually studied the legal system of the other country, discussed some legal topics of common interests and deepened the mutual understandings. I also had a valuable chance to present the development and current issues of the International Commercial Arbitration there. Especially, I was moved by the role-playing games where students of each country tried to resolve certain family disputes typically occurred in both countries, based on each country's family laws and dispute-resolution procedures.

I was convinced that the Externship Program (International) has been very helpful for Keio students to deepen the mutual understanding with foreign students through studying foreign laws, and to fulfill the goal of "rule of law", beyond just the international exchanges of students.



Japanese Students and Partner University Students (August, 2018) in Hanoi

## Message from Japanese student

# $Manao\ Asaoka\ ({\rm J.D\ 3^{nd}\ grade,\ joined\ externship\ in\ Hanoi\ and\ Laos})$

During my first year of law school, I was privileged to participate in two overseas externs: in Vietnam and in Laos. Not only did I learn a lot about law and development, but having the chance to make new friends was what stays with me the most. I still keep in touch frequently with my newly made friends, and I also had the chance to meet my Lao friends from the summer school in Vietnam later on in Laos! I also enjoyed exchanging gifts with lawyers in Lao after returning to Japan. I truly believe that it is experiences such as these that make my law school experience a totally unique and memorable one. Right now, I look forward to meeting my Cambodian friend coming to Keio from September.



# 修了生からのメッセージ

#### ダオ・ミン・チョウ (ホーチミン市出身、2019年3月修了)

慶應義塾大学は、英語で国際的な法実務を学ぶことができる LL.M.コースを日本で初めて提供しています。私は、グローバル法 務修士号の取得のみならず、将来のキャリアやより高度な教育へ とつながる批判的思考、批判的解釈、批判的傾聴、事案分析、ノ ートテイキング、要約についても学びました。正直に言えば、法 的な調査や起案のような実務を予測することを通じて、実務的な 知識が育まれました。さらに重要なことに、それは私の博士号取 得に向けた高度な学びにつながるものです。

グローバル法務修士号の取得後、私はベトナムに帰国し、ベトナム国家大学ホーチミン校経済法科大学の講師へ応募しました。 慶應で学んだ価値ある知識を、私は学生達と共有できるよう全力を尽くしたいです。きっと、学生達も国際的な法の場で、自信を持って働くことができるでしょう。加えて、私の出身大学にいる多くの学生に対して、慶應で学んだことを伝える架け橋になりたいと思います。

最後に、慶應ロースクールへの参加は、私の目標を達成するための素晴らしい機会を与えてくれ、私の人生は確実に新しいチャプターに変わりました。

#### 2019 年度上半期の活動報告

大学間交流がより一層深く展開する時期となりました。 2018年12月、ハノイ法科大学(ベトナム)に「慶應グローバル法研究所ハノイ法科大学オフィス」を開設しました。 ASEANにおける本学の研究拠点として、セミナーや各国との共同プログラムなどを実施していく計画です。

2019 年 5 月には、ヤンゴン大学(ミャンマー)との間で、大学間交流協定を締結することができ、PAGLEP 参加全大学との間で留学に必要な制度的基盤を確立することができました。

加えて、同年5月には、更なる相互交流の深化に向けて、ハノイ法科大学との間でデュアル・ディグリー協定を締結しました。本協定に基づく派遣学生は、2年間で、ハノイ法科大学の法学修士および本学のグローバル法務修士(専門職)の2つの学位を取得が可能となりました。現在、デュアル・ディグリー協定締結を他の参加大学との間でも進めております。

学生交流では、2019年2月に初めてラオス国立大学法政治学部と共同で比較民法をテーマにエクスターンシッププログラムを開催しました。本学からは5名(5ち LL.M.生2名)が参加し、ラオス国立大学からは19名の学生が参加し、活発な交流が図られました。

9月には、ハノイ法科大学と共同で、PAGLEP参加全大学と共に比較憲法学をテーマに短期プログラムを開催する予定です。

学生間のモビリティーが高まっています。





ハノイ法科大学オフィス (2018年 12月)

ヤンゴン大学との交流協定の締結(ミャンマー、2019年5月)

#### プログラム開始からこれまでの交流実績

年度	2016	2017	2018	2019	2020
派遣(目標数)	16 (6)	20 (15)	20 (15)	13 (21)	- (21)
受入(目標数)	1 (1)	20 (21)	45 (21)	15 (42)	- (42)

# Message from The Alumnus

Dao Minh Chau (From Ho Chi Minh City, Graduated in March, 2019)

Graduation Ceremony in March 2019 (Yokohama), the right is Ms. Dao Minh Chau



Keio University is the first Japanese law school to offer a professional graduate's master degree course with instruction in English language in the field of global legal practice. Hence, not only does this admission help me earn my Master Degree but also help me to learn about some legal skills like: critical thinking, critical reading, critical listening, case briefing, note taking, outlining which I believe to be a stepping stone for my future career and higher education. Honestly, anticipating such practical activities like legal research and writing has nurtured my practical knowledge and, more importantly, does attribute to my higher learning to procure my Doctorate Degree.

After achieving the LL.M. certificate, I have been back to Vietnam and been on application to be a lecture for Faculty of Law at University of Economics and Law. In future, I will try my best to share my students every valuable knowledge I have learnt at Keio. Therefore, they can confidently work in an international legal environment. Besides, I would love to be an ambassador to share more about the value of it for much more students in my university.

In conclusion, attending in Keio University Law School has surely turned my life to a new chapter by providing me with an excellent chance to achieve my goals.

#### これまでの活動報告

#### 2016 年度

2月 留学生 1 名受入れ (ベトナム) 3月 シンポジウム開催

ホーチミン・プノンペンエク スターンシップ派遣 (16名)

#### 2017年度

4月 LL. M. 正規生1名入学 (タイ) 留学生1名受入れ (ベトナム)

8月・留学生向け短期サマースクール開催 (ベトナム・カンボジア・ラオス・ミャンマー, 14名)・ラオスエクスターンシップ

・ラオスエクスターンシップ 派遣(2名)

9月·バンコクエクスターンシップ 派遣 (6名)

·LL. M. 正規生 2 名入学(ベトナム)
·留学生 2 名受入れ (ベトナム)

・ワークショップ開催 1月 民法・憲法共通教材作成会議開

3月 ホーチミン・プノンペンエク スターンシップ派遣(12名)

#### 2018 年度

4 月 LL. M. 正規生 4 名入学 (タイ, ベト

6 月 J.D 生ギャップターム派遣 (~9 月までハノイ、ホーチミン、タイ、カンボジ

8月 サマースクール (ハノイ 10名、ホーチミン2名、カンボジア2名、ラオス2名、 タイ2名、ミャンマー1名、ハノイエクスターンシップ派遣 11名)

9月 LL.M. 正規生 2名入学 (ハノイ、タイ) 留学生 1名受入れ (カンボジア) 11月 民法共通教材ワークショップ 12月 KEIGLAD ハノイ法科大学オフィ

ス開所 2月 ラオスエクスターンシップ (派遣

5名・受入 19名) 3月 JICA 法整備支援プロジェクトラオス研修員受入

修了式 (タイ2名、ベトナム2名)

# 寄付ご協力のお願い

KEIGLADは留学生および日本人学生に対する継続的な留学支援および教職員の相互交流を促進するために「アジアにおける法学教育連携推進資金」を設置いたしました。詳細については、法務研究科学生部へお問い合わせ下さい。

慶應義塾大学大学院法務研究科 東京都港区三田 2-15-45 03-5427-1778

law-jm@adst.keio.ac.jp